

原文

修正文

1937(昭和12)年7月7日夜、北京郊外の盧溝橋で、演習していた日本軍に向けて何者かが発砲する事件がおこった。翌朝にも、中国側からの発砲が続き、戦闘状態になった(盧溝橋事件)。事件そのものは、ささいな摩擦にすぎず、現地解決がはかられたが、日本側との衝突事件が続発し、解決を困難にした。

事件について誤解するおそれのある表現である。

1937(昭和12)年7月7日夜、北京郊外の盧溝橋で、演習していた日本軍に向けて何者かが発砲する事件がおきた。これをきっかけに、翌日には中国軍と戦闘状態になった(盧溝橋事件)。事件そのものは、小規模で、現地解決がはかられたが、日本側も大規模な派兵を決定し、国民党政府もただちに動員令を発した。こうして、以後8年間にわたる日中戦争が始まった。